

学校教育目標の実現に向け

検証改善サイクルを確立しましょう。

第1号でお伝えしたように、学力向上担当者の役割の1つは、誰一人取り残さないための「つまずき解消」です。今号では、学校全体で「つまずき解消」に取り組み、成果を上げている実践を紹介します。

ポイント

- 細やかな**現状把握**
- **検証結果**に基づく**つまずき解消の一手の提案**

津山市立鶴山小学校：学校教育目標「学習・生活集団力を高め、学び認め合う心豊かな子どもの育成」

学力向上に向けた主たる取組

※ 以下は、鶴山小学校における聞き取り及び令和3年度学校経営計画を基に抜粋して作成。

現 状

学力の2極化
家庭の教育力の低下

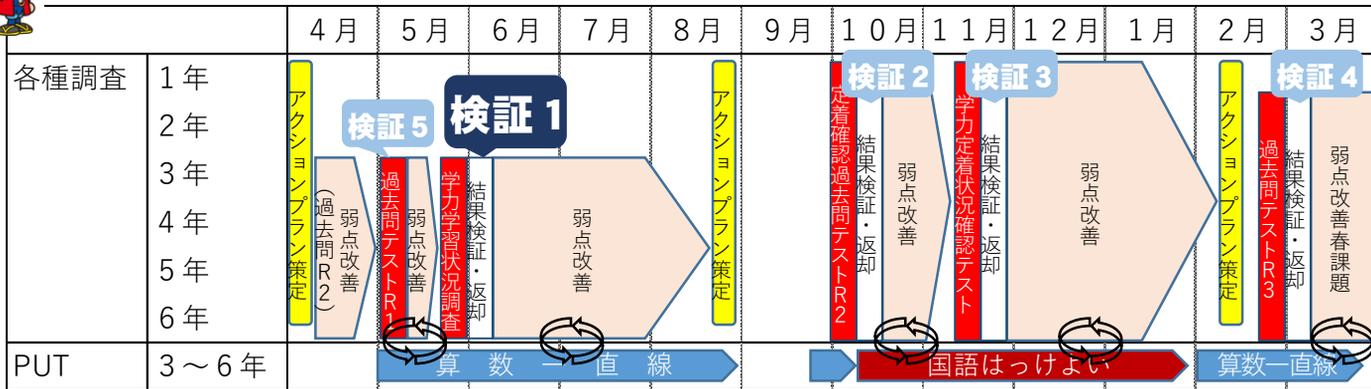
手 立 て

- ① 年間計画を基にした**検証改善サイクル**
- ② **放課後補充学習(PUT)**
- ③ 授業改善に向けた校内研修の取組
- ④ 教科担任制の導入

目 標

確かな学力

①全国及び県調査を起点とする年間5回の検証改善サイクルで、改善を図る。



チェック

結果検証・返却に当たり、教員の負担を増やさないこと、迅速な結果返却を行うことを両立させるため、調査日の午後は児童を下校させ、採点や結果入力をしています。

②調査結果を見える化し、つまずき解消に向け個別最適化された教材を準備する。

調査過去問 3年
津山市立鶴山小学校
学校作成の個人票で結果を見える化

関連問題等を参考に、児童生徒が復習プリントを選択し、自主学习等で活用

チェック

3年2組0番 ○ ○ ○ ○

優先順位と関連問題を示す

ことで、児童、保護者が迷わず取り組むことができます。

番号	問題の概要	正答率	優先順位	ベンチマーク	関連問題等
1(1)	617+897を計算する	○	3	17	白帯17~19
1(8)	4/7+2/7を計算する	○	4	6	複帯17
2(1)	1000万を2こ、10万を9こ、1000を6こ1を3こあわせた数を選んでこたえる	×	5	1	フォローアップ56.57



※ 関連問題等は、津山市教育委員会が市内全校に導入する東京書籍Webライブラリから利用できる問題データベースから選択し、学年単元別となるよう再構成。

5月27日(木)に実施予定の全国及び県学力・学習状況調査は、自校の取組の成果を全国と比較、検証できる貴重な機会であり、児童生徒にとっても、力を発揮して自信を得たり、調査をてこに年度当初につまずきを解消して、学習に取り組む意欲を高めたりする機会となります。

学力向上担当者として、児童生徒が力を発揮できるよう、授業での学習指導やゴールデンウィークを含めた家庭学習指導等、学校全体で取組を推進いただくようお願いします。